

閉会中の

農林
水産
委員会

KEKグループ、常総市大生郷地区、東京都中央卸売市場大田市場

耕畜連携の取り組み状況などを調査

はじめに、KEKグループ（協和施設園芸協同組合外）を訪れ、消費者に高品質の農産物を提供するための独自の栽培技術の研究や、自ら開発した糖度センサー付き選果機の導入によって糖度9度以上の高糖度トマトだけをフルーツトマトとして安定的に生産・出荷する取り組みについて説明を受け、実際のトマト栽培と選果の状況を調査しました。委員からは、研究の経過や品質管理などについて質疑がありました。

次に、常総市大生郷地区を訪れ、米の生産調整の一方策として、飼料用稲の生産と繁殖和牛の放牧を組み合わせた耕畜連携に取り組む状況を調査しました。この取り組みは、水田に簡易な電気柵を設置して繁殖和牛を放牧し、そこで栽培した飼料用稲を飼料として用いるもので、米の生産調整の新たな手法となります。また、この放牧技術を活用することにより、耕作放棄地の解消や繁殖和牛の良好な生育環境の確保など、耕種農家と畜産農家相互にメリットが生まれ、さらに環境保全にもつながるなど多方面に効果が期待されるものとして注目されています。

最後に、東京都中央卸売市場大田市場を訪問し、活気ある取引状況を視察しました。市場では、青果物卸売業者である東京青果株式会社から大田市場における農産物の取引状況の説明を受け、茨城の農産物の販売促進方策等について活発な意見交換を行いました。



水田放牧の状況を視察

都市計画道路石滝赤浜線、国道293号常陸太田東バイパス、主要地方道常陸那珂港山方線ほか

土木
委員会

石滝赤浜線整備の進捗状況などを調査



石滝赤浜線の整備状況を視察

はじめに、高萩土木事務所において、国道245号日立港拡幅事業や下桜井海岸災害復旧事業などの説明を受けました。

委員からは、山側道路の一部供用開始に伴い、国道6号の一部で新たな交通混雑が発生していることから、渋滞緩和のために信号制御の工夫も必要ではないかとの意見がありました。県は、今後、国・県・市の三者で、警察との協議を進めていきたいと答えました。

その後、常磐自動車道高萩インターチェンジと高萩市中心部を結ぶ幹線道路としての役割が期待される都市計画道路石滝赤浜線（県道高萩塙線）、日立市内の慢性的な渋滞緩和と交通安全確保が期待される国道6号日立バイパスの進捗状況を確認しました。そして、常陸太田土木事務所管内を訪れ、交通渋滞緩和のため工事が進められている都市計画道路木崎稲木線や国道293号常陸太田東バイパスなどの進捗状況を確認しました。

次に、常陸太田土木事務所において、国道461号道路橋梁改築事業や北茨城大子線道路改築事業などの説明を受け、最後に常陸那珂港山方線の久慈川架橋（仮称木島橋）の工事箇所を視察し、進捗状況などを確認しました。

文教
治安
委員会

高萩警察署、高萩駅前交番、高萩市立秋山小学校、県立高萩工業高校跡地

スクールサポーターの活動状況などを調査

はじめに、高萩警察署を訪れ、管内の概要や、市内の海岸でテント生活を送り違法駐車やごみ問題が問題化していた日系外国人キャンパー対策、スクールサポーターの活動状況などについて説明を受けました。また、高萩市内の通称「魔のカーブ」と呼ばれるような交通事故多発箇所への大型蛍光看板設置やカラーポストコーン設置など、具体例を交えた交通事故抑止対策について、その実施状況の説明を受けました。その後、平成19年8月にJR常磐線高萩駅舎脇に新築移転した高萩駅前交番を視察しました。

続いて、平成19年度から全学年を対象に「心の教育」を実践している高萩市立秋山小学校を訪れ、その取り組み状況などについて説明を受けました。また、平成17年に県内初の優秀教員として表彰された教員による「総合的な学習の時間」の授業を視察しました。視察後に行われた質疑では、委員から、教員の勤務実態やスクールバス利用者数、心の教育の成果などについて質問があり、活発な意見交換が行われました。さらに、グラウンドにおいて、子どもたちによるダンス「秋小ソーラン」を見学しました。

最後に、今年3月に廃校となった県立高萩工業高校跡地を視察し、現在の管理状況や今後の跡地利用などについて意見交換を行いました。



高萩駅前交番を視察